凡事徹底(縁)

八代第一中学校
生徒指導通心
第25号　2023.12.1（金）

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践　　綱領：至誠貫徹･真理探究･耐久持続
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』
　　スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦　一中プライド～

石川遼選手の卒業文集～「進路実現」に向けて頑張るみなさんへ！～

二年後：中学校二年生、日本アマチュア選手権出場
三年後：中学校三年生、日本アマチュア選手権（ベスト8）
四年後：高校一年生、日本アマ優勝。プロのトーナメントでも勝つ六年後：高校三年生、日本で一番大きいトーナメント、日本オープンでも勝つ
八年後：二十歳、アメリカに行って世界一大きいトーナメント、マスターズ優勝。これを目標にしてがんばります。最後のマスターズ優勝はぼくの夢です。それも二回勝ちたいです。みんな（ライバル）の夢もぼくと同じだと思います。でも、ぼくは二回勝ちたいのでみんなの倍の練習が必要です。

　みんなが一生懸命練習をしているなら、ぼくはその二倍、一生懸命練習をやらないとだめです。ぼくはプロゴルファーになって全くの無名だったら、「もっとあのときこうしていれば…」とか後悔しないようにゴルフをやっていこうと思います。
　来年には埼玉の東京GCで行われる「埼玉県ジュニア（中学の部）」で優勝したいです。今は優勝とか関係ありません。中学生になってからそういうことにこだわろうと思います。高校生で試合に優勝すると、外国に招待してくれます。その試合で世界から注目される選手になりたいです。
　ぼくは勝てない試合には今は出ません。ぼくの将来の夢はプロゴルファーの世界一だけど、世界一強くて、世界一好かれる選手になりたいです。　　【石川遼選手（プロゴルファー）の卒業文集より】

　まず、先週のイチロー選手と同様に、小学校6年生の文章とは信じられませんが、数字や日付など、極めて具体的なことが書かれています。これはむしろ、夢ではなく目標と言えると思います。そして、誰よりも練習が必要であることにまで言及しています。

（今週も私からの言葉だけではなく、それぞれが感じるポイントも大切にしてほしいと思います）

（１）夢実現（プロゴルファーになる）ことを目指した計画が１年ごとに立てられており、その段階ごとの「自分の姿をイメージする力」（イメージ力）が優れていることが分かります。１年ごとに細かく計画を立てるためには、自己分析だけでなく、客観的に先輩のプロゴルファーの方々の活躍の軌跡などをきちんと把握しておく必要があります。

（２）後悔という言葉から、これまでのゴルフ生活の中で、失敗して苦しい経験、辛い経験があるからこそ書ける言葉ではないかと思います。ジュニア時代に、失敗や思い通りにならないことを経験することが、その後の人生に好影響をあたえることはよくあることです。

（３）日本という小さな枠組みではなく、広い視点（世界というグローバルな視点）から、広く「夢実現・自己実現」に向けた自分のあるべき姿を、小学校６年生ですでに見つめています。単なる夢想家とはある意味で真逆です。また、その後の人生で、石川選手がここに書かれた「目標」以上の事は実現できていないことも現実としてあります。人間にとって、いかに具体的な目標が必要かということがわかります。目標をもって毎日を生きることで、それぞれの叶えたい「何か」を達成できる人生が、そこにはあるのかもしれません。